令和2 年度　学校教育指導の方針と重点

八戸市教育委員会

１　方　　針

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童生徒を育成するため、安全・安心で「魅力ある学校づくり」を通して、家庭・地域社会と連携・協働しながら学校経営に創意工夫をこらし、「いのちの教育」を基底に、「生きる力」を育む学校教育の充実に努める。

〇学校経営の視点

Ⅰ〔確かな学力の保証〕
「わかった！できた！身についた！」が実感できる授業づくり

Ⅱ〔豊かな心・健やかな体を育む指導の充実〕
「いのちの教育」を基底に据えた心づくり・体つくり・人間関係づくり（居場所づくり・絆づくり）

Ⅲ〔地域密着型教育の趣旨を生かした開かれた学校づくりの推進〕
学校間の連携及び家庭・地域社会との連携・協働による開かれた学校づくり

２　重　　点

(1) 学習指導の充実

児童生徒に求められる資質・能力を育成するために、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせる学習過程を重視し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりを推進する。

ア　特別支援教育の視点を取り入れた授業づくりの充実
イ　各教科等の特質を生かした問題解決的な学習の推進
ウ　児童生徒や学校の実態を踏まえた指導方法や指導体制の工夫等、個に応じた指導の充実
エ　評価を生かした指導の工夫
オ　発達の段階に応じた望ましい学習習慣の育成
カ　授業のねらいや各教科等の特質に応じたＩＣＴの適切な活用

(2) 道徳教育の充実

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を基盤に、日常の実践につながる道徳性の育成に努める。

ア　道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実
イ　問題解決的な学習や体験的な学習等、多様な指導方法を実態やねらいに即して取り入れた道徳科の授業の工夫
ウ　特別活動等の多様な実践活動や体験活動を計画的に位置付けた指導の工夫

(3) 体育・健康に関する指導の充実

生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送り、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成に努める。

ア　発達の段階に応じて運動に親しみ、体力の向上を図る授業の充実
イ　心身の発達の段階に応じた保健学習と保健指導の充実
ウ　家庭と連携した食に関する意識の高揚を図る指導の充実
エ　家庭と連携した望ましい生活習慣の形成を図る指導の充実

(4) 特別活動の充実・キャリア教育の推進

人間関係形成、社会参画及び自己実現の視点で、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組む態度の育成に努める。また、学級活動を要としつつ教育活動全体を通じて、キャリア教育の推進に努める。

ア　育成を目指す資質・能力や各教科・道徳科等との関連を明らかにした計画の活用
イ　話合い活動で合意形成や意思決定したことを実践につなげる指導の充実
ウ　各活動や学校行事を生活や学習に生かすための、見通しや振り返りを重視した活動の充実
エ　学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、基礎的・汎用的能力を身に付けるキャリア教育の推進

(5) 生徒指導の充実

居場所づくり・絆づくりを進めることにより、一人一人の人格を尊重した生徒指導の充実に努める。

ア　発達の段階に応じた自己指導能力の育成

イ　カウンセリングマインドによる児童生徒の内面理解に基づいた指導の充実

ウ　学年・学級づくりにおける、自己有用感と所属感を高める指導の充実

エ　全教職員による情報共有を基盤とした問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応を可能にする協働的な指導体制の充実

オ　家庭や地域社会、関係機関等との連携・協働の推進

(6) 特別支援教育の充実

一人一人の教育的ニーズの的確な把握と、個に応じた適切な指導と必要な支援に努める。

ア　特別な配慮を必要とする幼児児童生徒の早期発見・早期支援及び校種間連携の充実

イ　「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の作成と効果的な活用

ウ　保護者との連携も含めた組織的な校内支援体制の充実

(7) 現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育等の推進

教科等横断的な視点で、学習の基盤となる資質・能力や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成に努める。また、教育活動全体で男女共同参画を推進する。

ア　各教科と総合的な学習の時間等との関連を図り、教科等横断的な視点で求められる資質・能力を育成する年間指導計画及び単元指導計画の工夫

イ　言語能力の育成を目指した言語活動の充実

ウ　発達の段階に応じた、情報活用能力（情報モラルを含む）の育成を目指した指導の充実

エ　問題発見・解決能力の育成を目指した指導の充実

オ　環境保全に主体的に取り組む態度や能力を育む体験的な活動の推進

カ　地域の環境や人材を生かし、関係団体等と連携・協働した指導や活動の工夫

キ　郷土に対する誇りと愛着を育むとともに、我が国と諸外国の文化と伝統について関心や理解を深める指導の推進

ク　「外国語を使って何ができるようになるか」の観点から、知識・技能をコミュニケーションで活用し、思考・判断・表現することを通して資質・能力を一体的に育む指導の推進

(8) 研修の充実

学校教育課題の解決及び専門職としての資質と指導力の向上を目指した研修の充実に努める。

ア　研修意欲の高揚を図る校内体制の整備及び運営の工夫

イ　自校や児童生徒の実態を踏まえた実践的研究の充実

ウ　児童生徒の変容に基づく校内研究の検証

エ　校内研究の成果を生かした日常の授業の充実

オ　自校の教育課題解決やキャリアステージに応じた資質の向上に結び付く校外研修の活用

(9) 幼・保・こ、小、中、高校の連携の推進

幼稚園・保育所(園)・認定こども園と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校の円滑な接続を図る教育の推進に努める。

ア　接続する校種間における指導内容等の相互理解の推進

イ　接続期におけるきめ細かな指導の充実

ウ　課題解決につながる授業交流や合同研修等の充実

エ　各教科等の系統性を踏まえた指導の推進

(10)学校安全の充実

危険等の事前・発生時・事後を想定した学校安全（生活安全・交通安全・災害安全）の充実に努める。

ア　児童生徒が自ら危険を予測し、それを回避して、安全に行動できるようにするための実践的な安全教育の充実

イ　学校や地域の実情に応じた安全管理の充実

ウ　校内の協力体制の整備と家庭や地域社会・関係機関等と連携・協働した安全に関する組織活動の充実